

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1072
施設名	松島おひさま保育園
施設所在地	江戸川区松島2-30-17
法人名	社会福祉法人えどがわ

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

踏んで触って、感触あそび

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

普段から遊びの中で、さまざまな感触のおもちゃや素材で遊んでいる、季節ごとでの遊びの中での様々な素材をもっと自由に触れて遊ぶことで感じる事を体験してほしい。

## 2. 活動スケジュール

夏の間は水遊びで水の感触を楽しみ、センサーマットや寒天、氷などに触れて遊ぶ  
室内遊びの際には、様々な素材のマットを用意して、手で触れるだけではなく、足や全身を使って感触遊びをした。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

水、氷、寒天、絵具、ペットボトル、ボール、スプーン、ジッパーバック、洗濯のり  
スポンジ、ラップの芯、キャップ、身近な廃材など

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

水遊びの際は、シャワーで水に触れたり、コップやスプーンで水で遊ぶ。氷遊びでは、氷に色が付けて溶けていく様子を見たり、触れて見たりした。寒天あそびでは手で握ってみたり潰してみたりと感触を楽しんでいた。

センサーマットとでは、足でマットの上を歩いたり、手で触れて見たりと何度もくりかえりマットの上を移動する。気に入った素材には何度も手で触れている姿が見られた。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

保育士が触れた感触を言葉にすることで「固いね」で「こぼこだね」などの言葉を発する子供もいた。気になる素材に積極的に触れていた。踏むだけではなく手で掴んだり引っ張ったりと自由に触れて遊んでいた。壁を使ってセンサーマットの上を歩き、不安定な感覚を楽しむ姿も見られた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

保育士も一緒にセンサーマットの上を歩いたり感触を共感することで、より楽しさを感じている様子が伺えた。保育士が設定した場所ではない場所へセンサーマットを移動させたり、子どもたち自身が自由に遊ぶ環境を作って遊んでいることを感じた。保育士がイメージした遊びとはちょっと違った遊び方をする子どもたちを感じる事が出来た。